

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	生活文化部
	17038	「関の山車」会館整備事業		課名	文化スポーツ課 まちなみ文化財G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
		09:歴史的風致を生かしたまちづくりの推進		款	10:教育費
		02:関宿伝統的建造物群保存地区の保護の推進		項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	目	08:町並み保存費		
事業予定期間	H 28 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等 文化財保護法、歴史まちづくり法、三重県文化財保護条例、同規則、亀山市文化財保護条例、同規則			

② 目的・概要	対象	保存地区住民・関宿来訪者
	目的	「関の山車」を保存・展示するとともに、祭囃子等の伝承活動の拠点として「関の山車」会館を整備し、その保存を図る。あわせて、関宿見学の拠点施設として、見学者との交流により、関宿の新たな魅力づくりと地域振興を図る。
概要	「関の山車」会館の整備のため、用地公有化、施設配置設計、建造物実施設計、伝統的建造物の保存修理、地域交流施設等の新築、展示に関する設計及び制作工事、外構工事等を行う。また、開館後の管理・運営を見据えて、保存会等の活動団体の支援を行う。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財発掘調査 ○主屋修理 <ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務 ・修理工事 ○離れ・土蔵修理 <ul style="list-style-type: none"> ・修理工事 ・監理業務 ○収蔵展示館(第1期)工事 <ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 ・監理業務 ○展示工事 <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務 ○管理体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵展示館(第2期)工事 <ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 ・監理業務 ○展示工事 ○外構工事 ○管理体制の決定 		
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○新築実施設計業務(H28繰越) ○埋蔵文化財発掘調査 ○離れ・土蔵修理 ○展示工事 ○主屋修理(部分) ○収蔵展示館(第1期)工事(部分) 	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵展示館(第2期)工事 ○収蔵展示館(第1期)工事(H.29繰越) ○展示工事 ○外構工事 ○主屋修理(H29繰越) ○管理体制の決定 		
事業費	計画額	事業費	125,000千円	111,000千円	
		国庫支出金	61,000千円	47,160千円	
		県支出金	3,200千円	1,000千円	
		地方債	51,500千円	37,800千円	
		その他			
	予算額(※)	事業費	61,684千円	177,241千円	
		国庫支出金	29,400千円	69,281千円	
		県支出金	945千円	840千円	
		地方債	21,400千円	67,400千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	61,590千円	175,600千円	
		国庫支出金	28,359千円	69,281千円	
		県支出金	935千円	2,247千円	
		地方債	16,200千円	66,800千円	
		その他			
人件費	一般財源	16,096千円	37,272千円	0千円	
	総人件費 ②	7,679千円	7,783千円		
	一般職員	7,679千円	7,783千円		
	所要人員	1.00	1.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		69,269千円	183,383千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称	「関の山車」会館整備工事 進捗率	計画値 69	100
			実施済み事業費／総事業費	実績値 41	100
				単位 %	%
②	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
③	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

⑤ 事業の改善行動	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 工事については工程が遅れており、開館時期に支障がないよう複数事業を同時に走らせる必要があり、綿密な工程管理が必要であるため、各工事に対し、週間の工程会議を実施し、不測の事態に備えて管理を行うとともに、各工事間の調整を適切に行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 複数の工事及び業務委託について、毎週工程会議を実施し、各工事間の調整を適切に行うことにより、一部工期の延長があったが、すべての工事及び業務委託を年度内に完成することができた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 工事及び業務委託については、工期の延長、契約変更等があったものの、平成30年度中に完成することができた。また、開館後の活用について、山車保存会と協議し、離れを同会の会議や御囃子の練習会場として利用していくこととした。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 関宿見学の一拠点施設として、令和元年度の開館が可能となった。また、保存会等活動団体の活動拠点ができたことで、協議どおり山車保存会が活動できるようになった。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 山車保存会を含め、その他保存伝承に関わりの深い団体や地域住民の方々の活用がより一層進むよう、更なる支援を図っていく必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 平成30年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 山車保存会を含め、その他保存伝承に関わりの深い団体や地域住民の方々と館の活用方法について協議・検討していく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 関の山車の保存伝承活動を活性化することができる。	
対応時期		令和元年度～	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 まちなみ文化財グループリーダー 山口 昌直
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	C	B			
	成果	C	A			

※平成30年度予算額について

事業費	177,241 千円
平成29年度からの繰越額	66,348 千円
平成30年度予算額	110,893 千円
令和元年度への繰越額	- 千円